

報道関係各位

2012年6月7日
株式会社博報堂
株式会社博報堂プロダクツ

博報堂グループ、独自の商圈分析プログラム「HAKMAP™」を開発

**商圈内居住者の消費特性をカテゴリー別に細かく分析、町丁目単位で把握
店舗・施設ごとに最適なマーケティング施策を展開**

株式会社博報堂と株式会社博報堂プロダクツは、商圈分析から戦略立案、実施、効果測定までをワンストップで支援するオリジナル商圈分析プログラム『HAKMAP™』(Hakuhodo Area Knowledge Marketing Analysis Program、ハクマップ)を開発し、本日よりサービス提供を開始しました。

近年、人口動態の変化や、単身・共働き世帯の増加による世帯構成の変化により、店舗や施設の商圈特性の多様化が進んでいます。これまでは“駅前”や“郊外”などの立地タイプで捉えた運用が主流でしたが、もはやそれだけでは括りきれず、1店舗・1施設ごとの商圈特性を細かく把握する必要性が生まれています。

このたび提供を開始する『HAKMAP™』は、多様化する商圈特性を個々の店舗・施設ごとに把握し、その特性に応じて最適なマーケティング施策を展開する商圈分析プログラムです。

プログラムの最大の強みは、博報堂グループ独自で開発した高精度の商圈分析モデルで、商圈内居住者の人口特性やライフスタイル特性に加え、カテゴリー単位で消費・購買特性を細かく分析でき、それらのデータを町丁目単位まで落とし込んで商圈を把握することが可能です。



解析により明らかになった個々の店舗や施設の商圈特性に応じて、立地、ターゲット、タッチポイント、具体的な施策を複合的に組み合わせた最適なマーケティング戦略を立案し、施策を実施します。

実施後は、施策への反応や、来店率、売上への影響など、投下した施策の効果検証を行い、次のアクションの改善につなげます。株式会社ゼンリンデータコムの「混雑統計®(※)」を活用し、来店頻度や滞在時間の変化、導線別アプローチの結果なども確認できます。

このように、商圈分析を分析・戦略立案・実施・効果測定というPDCA(Plan・Do・Check・Action)サイクルで展開することにより、画一的になりがちなマーケティング施策を個々の店舗・施設ごとに最適化していくことが可能になります。

小売業や外食チェーン、商業施設、不動産業、自動車販売業、消費財メーカー、観光地・レジャースポット、自治体など、商圈別の特性把握・マーケティングを必要とする幅広い業態でご活用いただけます。

博報堂と博報堂プロダクツは今後も、クライアント企業のマーケティング活動全体の最適化を実現するパートナーとして、次世代型の統合マーケティング・ソリューションの開発と実践に取り組んでまいります。

<参考資料>

■『HAKMAP™』(Hakuhodo Area Knowledge Marketing Analysis Program)

株式会社博報堂と株式会社博報堂プロダクツが共同で開発した、商圈特性を店舗・施設単位で把握し、その特性に応じて最適なマーケティング施策を展開する商圈分析プログラム。商圈分析から戦略立案、実施、効果測定までのPDCAをワンストップで支援する。



■『HAKMAP™』のプログラム概要／分析導入ステップ

Plan

STEP1: 与件の確認

→分析対象エリア、店舗／施設、カテゴリの規定

STEP2: 店舗／施設別の商圈規定

STEP3: 商圈規定に基づく『HAKMAP™』からの店舗／施設別の人口特性、消費・購買特性データ等の抽出／集計

STEP4: 商圈データに基づくマーケティング施策&KPI(Key Performance Indicator=成果測定指標)の策定

→店舗／施設別に立地、ターゲット、タッチポイント、具体的施策を複合的に組み合わせた最適プランを策定

Do

STEP5: 店舗／施設別に策定したマーケティング施策の導入・実施

Check

STEP6: 店舗／施設別の効果検証

※オプションとして株式会社ゼンリンデータコム「混雑統計®」を活用した来店頻度や滞在時間の変化、導線別アプローチの結果を把握

Action

STEP7: 効果検証に基づくマーケティング施策の見直し／次回導入施策の検討

■※株式会社ゼンリンデータコム「混雑統計®」(『HAKMAP™』の効果測定で活用)

携帯利用者から許諾を得て取得した位置情報を、株式会社ゼンリンデータコムが開発した分析プログラムで「マーケティング・データ」として活用できるように統計処理したもの。(お客様個人を特定することはできません)

※株式会社ゼンリンデータコム: 東京都港区、モバイル端末向け事業、ネットナビ事業、地図ソリューション事業

<http://www.zenrin-datacom.net/>

<本リリースに関するお問い合わせ>

[博報堂] 広報室: 山野・藤井 (TEL:03-6441-6161)

[博報堂プロダクツ] 広報担当: 鈴木・木村 (TEL:03-5144-7211)

<『HAKMAP™』に関するお問い合わせ>

[博報堂] PBU(プロモーションビジネスユニット): 徳久・辻田 (TEL:03-6441-8167)

[博報堂プロダクツ] 顧客化接点事業推進室 其田 (TEL:03-6441-6529)

<http://www.hakuhodo.co.jp/>